



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月26日

上場取引所 東大

上場会社名 日本電気硝子株式会社  
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(氏名) 有岡 雅行  
 (氏名) 松本 元春  
 配当支払開始予定日

TEL 077-537-1700  
 平成23年11月30日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	184,373	△9.4	47,556	△34.8	45,741	△35.9	24,889	△41.5
23年3月期第2四半期	203,587	41.4	72,960	125.3	71,381	142.2	42,514	205.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 24,334百万円 (△41.7%) 23年3月期第2四半期 41,767百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	50.04	—
23年3月期第2四半期	85.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	720,352	489,195	67.2
23年3月期	692,622	468,037	66.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 483,854百万円 23年3月期 463,709百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00 ～8.00	14.00 ～15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

通期の業績予想に代えて、翌四半期の業績予想を開示させていただきます。翌第3四半期の業績予想につきましては5.平成24年3月期第3四半期の連結業績予想をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	497,616,234 株	23年3月期	497,616,234 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	201,344 株	23年3月期	166,179 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	497,431,096 株	23年3月期2Q	497,463,808 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算発表の翌日(10月27日)に当社ホームページ(URL <http://www.neg.co.jp/>)にて開示します。

5. 平成24年3月期第3四半期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(%表示は前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当四半期純利益		1株当たり 当四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第3四半期	267,000	△11	57,500	△42	53,500	△44	28,500	△51	57
連結累計期間	～277,000	～△8	～62,500	～△37	～58,500	～△39	～31,500	～△46	～63

当社は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報に記載のとおりレンジ形式により開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

[第2四半期累計期間]

## ①概況

世界経済は、欧州での財政問題の深刻化をはじめ米国の景気回復の鈍化、中国での景気拡大の減速などにより予断を許さぬ状況が続きました。国内においても、東日本大震災以降の個人消費の伸び悩みや厳しい雇用情勢、電力問題などを背景に景気は足踏み状態が続き、得意先の稼働率も大幅に下方修正され、当社を取り巻く外部環境は日を追って厳しさを増しました。

このような中、第1四半期（平成23年4月1日～6月30日）の業績は前四半期（同1月1日～3月31日）を上回り回復基調を示したものの、第2四半期（同7月1日～9月30日）に入ると、再び事業環境が悪化しました。薄型ディスプレイ（FPD）用ガラスをはじめ主力分野などで販売が期初計画を下回るなど業績が減速しました。この結果、当第2四半期累計期間の業績は、前年同期と比べ減収・減益となりました。

## ②経営成績

	前第2四半期累計期間 (22/4～22/9) (億円)	当第2四半期累計期間 (23/4～23/9) (億円)	増減 (%)
売上高	2,035	1,843	△9
営業利益	729	475	△35
経常利益	713	457	△36
純利益	425	248	△42

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第2四半期累計期間 (22/4～22/9)		当第2四半期累計期間 (23/4～23/9)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	1,719	84	1,495	81	△224	△13
	その他用ガラス	316	16	348	19	32	10
合計		2,035	100	1,843	100	△192	△9

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (売上高)

## ・電子・情報用ガラス：

FPD用ガラスの販売は、第1四半期に緩やかながら回復に転じましたが、第2四半期には得意先の生産調整の影響を受け減速しました。光関連ガラスの販売は、新興国の通信インフラ需要を背景に底堅く推移しましたが、第2四半期には減少に転じました。イメージセンサ用カバーガラスの販売は、第1四半期後半から復調の動きを示したものの、デジタルカメラ需要の回復は鈍く、力強さに欠けるものとなりました。今春から本格出荷を開始した太陽電池用基板ガラスの販売は順調に推移しました。

## ・その他用ガラス：

ガラスファイバは主力の自動車部品向けの販売が、震災による国内市場の落ち込みを海外市場でカバーし、能力増強分を拡販することで前年を上回る販売を確保できましたが、耐熱、建築その他の事業領域では生産面や販売面で低調な分野が見られました。

## (損益面)

FPD用ガラスでの販売数量の伸び悩みや価格下落、設備改善工事などの実施による費用増や生産の減少などのほか、他の事業領域でも生産・販売で下振れた分野があり、利益を圧迫しました。これらに減価償却費の増加や原燃料コストの上昇も加わり、利益は前年同期を大きく下回りました。

## (2) 連結業績予想に関する定性的情報

	23年3月期 第3四半期累計期間 (22/4～22/12) (億円)	24年3月期 第3四半期累計期間 (23/4～23/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,998	2,670～2,770	△11～△8
営業利益	985	575～625	△42～△37
経常利益	963	535～585	△44～△39
純利益	584	285～315	△51～△46

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

第3四半期(平成23年10月1日～12月31日)に関しては、現下の厳しい事業環境が続くものと見込まれ、当面は多くの製品分野で本格的な需要回復を期待するのは難しいものと予想しています。

このような状況にあって、電子・情報用ガラスでは、FPD用ガラスの薄板化の進展が販売の下支え材料になっていくことを期しています。その他用ガラスでは、ガラスファイバの海外需要が軟化するものの国内需要は回復を見込んでいます。住宅・建築その他分野は、引き続き低調な状況が続くと予想しますが、市場の開拓に注力していきます。

費用面については、原燃料費や減価償却費など諸費用の増加が見込まれ、また為替の動向や在庫削減のための稼働調整の実施などが損益に悪影響を与えることが懸念されますが、費用の圧縮や生産の改善を進めていきます。

第2四半期累計の業績に上記見込みを加えた第3四半期累計期間の連結業績予想は、上表のとおり前年同期実績を下回る見込みです。

なお、当社を取り巻く国内外の情勢は変化が激しく、かつ、そのテンポは非常に速いため、先行きの業績を的確に予想することが困難な状況にあります。つきましては、第3四半期累計期間の連結業績予想をレンジ形式により開示させていただきます。諸要素が当社の想定(期初計画)よりも上振れる(好転する)形で推移した場合はレンジの上限に近づき、逆に下振れる(悪化する)形で推移した場合はレンジの下限に近づくものと予想しています。

## (業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加え、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するため、以下の要領で当期業績見込みをお知らせします。

予定時期	当期業績見込み(累計ベース) (数値開示)
6月下旬	第1四半期
9月下旬	第2四半期
12月下旬	第3四半期
3月下旬	通期

なお、四半期ベースでの次期見通しについては、四半期業績発表の際に決算短信上で開示します。

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素がありえます。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,808	109,630
受取手形及び売掛金	64,357	65,457
商品及び製品	24,733	32,309
仕掛品	1,585	1,629
原材料及び貯蔵品	19,054	18,600
その他	10,907	12,996
貸倒引当金	△539	△119
流動資産合計	238,908	240,505
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	319,105	315,956
その他（純額）	98,317	126,145
有形固定資産合計	417,422	442,101
無形固定資産	1,340	1,325
投資その他の資産		
その他	35,222	36,683
貸倒引当金	△271	△264
投資その他の資産合計	34,950	36,419
固定資産合計	453,714	479,847
資産合計	692,622	720,352
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,757	44,804
短期借入金	41,534	61,528
未払法人税等	15,462	17,018
その他の引当金	147	5,086
その他	42,425	39,797
流動負債合計	142,326	168,236
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	29,738	7,751
特別修繕引当金	29,766	32,486
その他の引当金	1,679	1,532
その他	1,073	1,151
固定負債合計	82,257	62,921
負債合計	224,584	231,157

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,357	34,356
利益剰余金	403,355	424,762
自己株式	△233	△270
株主資本合計	469,634	491,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,139	1,594
繰延ヘッジ損益	△32	△23
為替換算調整勘定	△9,032	△8,720
その他の包括利益累計額合計	△5,925	△7,149
少数株主持分	4,328	5,341
純資産合計	468,037	489,195
負債純資産合計	692,622	720,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	203,587	184,373
売上原価	118,998	122,732
売上総利益	84,588	61,640
販売費及び一般管理費	11,627	14,084
営業利益	72,960	47,556
営業外収益		
受取利息	113	74
受取配当金	523	262
その他	815	596
営業外収益合計	1,452	933
営業外費用		
支払利息	557	488
固定資産除却損	1,243	874
その他	1,230	1,386
営業外費用合計	3,031	2,749
経常利益	71,381	45,741
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	3,966	687
投資有価証券売却益	—	1,478
その他	524	—
特別利益合計	4,490	2,166
特別損失		
固定資産除却損	4,367	829
競争法関連引当金繰入額	—	5,000
その他	1,215	746
特別損失合計	5,582	6,575
税金等調整前四半期純利益	70,290	41,331
法人税等	27,211	15,769
少数株主損益調整前四半期純利益	43,078	25,562
少数株主利益	563	672
四半期純利益	42,514	24,889

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43,078	25,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,391	△1,544
繰延ヘッジ損益	△9	8
為替換算調整勘定	90	308
その他の包括利益合計	△1,310	△1,227
四半期包括利益	41,767	24,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,220	23,664
少数株主に係る四半期包括利益	546	670

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70,290	41,331
減価償却費	23,341	25,078
売上債権の増減額(△は増加)	5,576	△1,090
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,057	△7,128
仕入債務の増減額(△は減少)	6,832	1,083
法人税等の支払額	△33,491	△15,214
その他	3,679	7,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,170	51,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△41,216	△52,080
投資有価証券の取得による支出	△59	△7,432
投資有価証券の売却による収入	81	4,911
その他	△287	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,481	△54,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△2,442	△2,255
配当金の支払額	△2,982	△3,481
その他	△121	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,546	△5,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,157	△8,580
現金及び現金同等物の期首残高	91,667	116,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	114,825	107,785

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成23年10月19日、欧州委員会から、カラーブラウン管用ガラスに関して、平成11年2月から平成16年12月の間、欧州市場（E E A）においてEU競争法違反行為があったとして、4,320万ユーロの課徴金を課す旨の決定を受けました。本決定は欧州委員会との和解手続きを経てなされたものです。

なお、本決定に関して、競争法関連引当金を計上しており、四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。